

キムソンスク

金善淑氏紹介

【プロフィール】

韓国出身。日本体育大学大学院卒業。日本体育大学スポーツ専門職・日本バドミントン協会ジュニア強化部員現役選手としては、高校では全国大会3連覇を果たし、卒業後に所属した実業団チーム全北銀行では、韓国総合選手権ダブルス2位、ミックス2位の成績を残す。

2001年富山県立高岡西高等学校にコーチとして来日、同校のインターハイ優勝などに大きく寄与する。また、日本バドミントン協会ナショナルジュニアチームのコーチに就任し、次代を担う選手の育成に尽力する。

2012年のアジアユースU19バドミントン選手権大会団体戦では、強豪中国を破り日本初優勝へ導く。さらに佐藤冴香の専任コーチとなり、自身の経験に基づく独自の指導とその激しい練習に応えた佐藤選手の努力の結果、ロンドン五輪出場を勝ち取った。

【DVD】金 善淑の韓国式バドミントン・コーチングの商品概要

金善淑コーチが2012年ロンドン五輪日本代表「佐藤冴香」選手の専任コーチとして1年目に行なったことは、フットワークを一から指導し直しトレーニングで基礎体力を強化することでした。

高いレベルにある選手でも癖や無駄な動作による対応の遅れなど、矯正が必要な部分は少なからず存在します。すでに世界ジュニア女子シングルス準優勝の実績がある佐藤選手に対しても金コーチが指導したように、基本の見直しは遅すぎるから間に合わないということはありません。

本編では日本人選手に多いプレースタイルの特徴からウイークポイントとなりうるフォームや動作を分析、そこから韓国での指導方法を基にした問題点改善のための練習方法を理論的に解説していきます。自身のプレーヤーとしての経験と、日本・韓国の指導スタイルを熟知した金コーチだからこそ実践できる数多くの練習方法をご紹介します。

スイングでは、コンパクトな振りで力強い球を打てるようになる独自の素振り練習方法を指導する。無駄な動きを排除したフットワークとスイングは、試合で必要とされる動きを基本動作から徹底的に練習する。